

5 スポーツ

- (1) 1年間に「スポーツ」を行った人は約8163万人、行動者率は72.2%

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は8162万7千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は72.2%となっている。行動者率を平成8年と比較すると、3.8ポイント低下している。

行動者率を男女別にみると、男性は78.2%（行動者数4308万7千人）、女性は66.4%（3854万1千人）で、男性が女性より高くなっている。これを平成8年と比較すると、男性は3.5ポイント、女性は4.1ポイント、それぞれ低下している。

- (2) 10歳代から30歳代で「スポーツ」の行動者率が大きく低下、60歳代以上ではわずかに上昇

「スポーツ」の行動者率を年齢階級別にみると、10歳代前半が93.2%と最も高くなっており、年齢が高くなるに従っておおむね低下している。これを平成8年と比較すると、50歳代以下の各年齢階級で低下している。特に、30歳代以下の年齢階級での低下幅が大きくなっている。一方、60歳代以上では、行動者率がわずかながら上昇している。（図5-1）

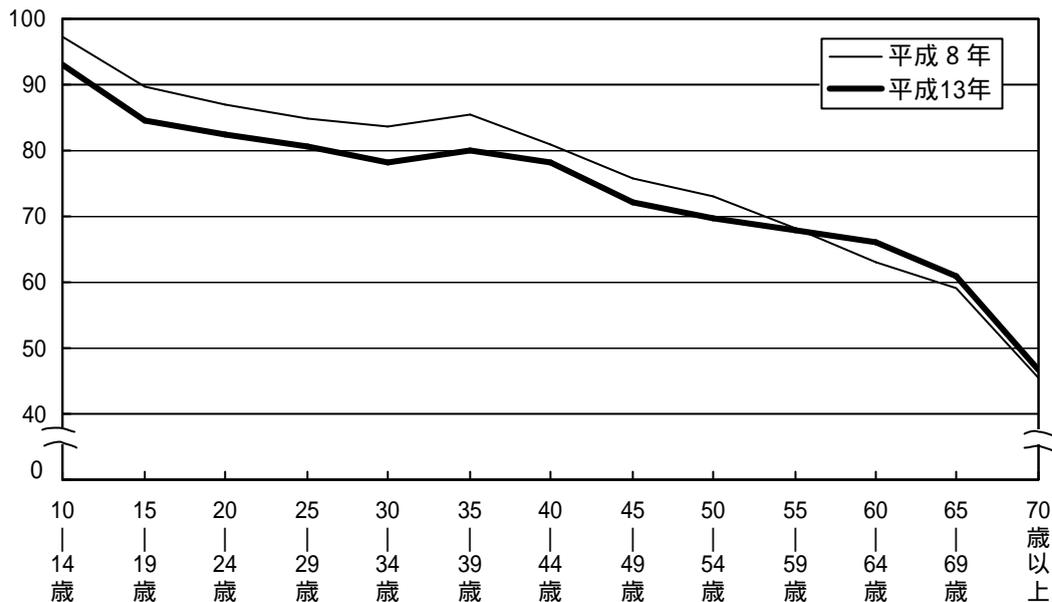
また、男女別にみると、すべての年齢階級で男性が女性より高くなっており、年齢が高くなるほど男女差が大きくなっている。（図5-2）

- (3) 行動者率が高く、平均行動日数も多い「運動としての散歩・軽い体操」

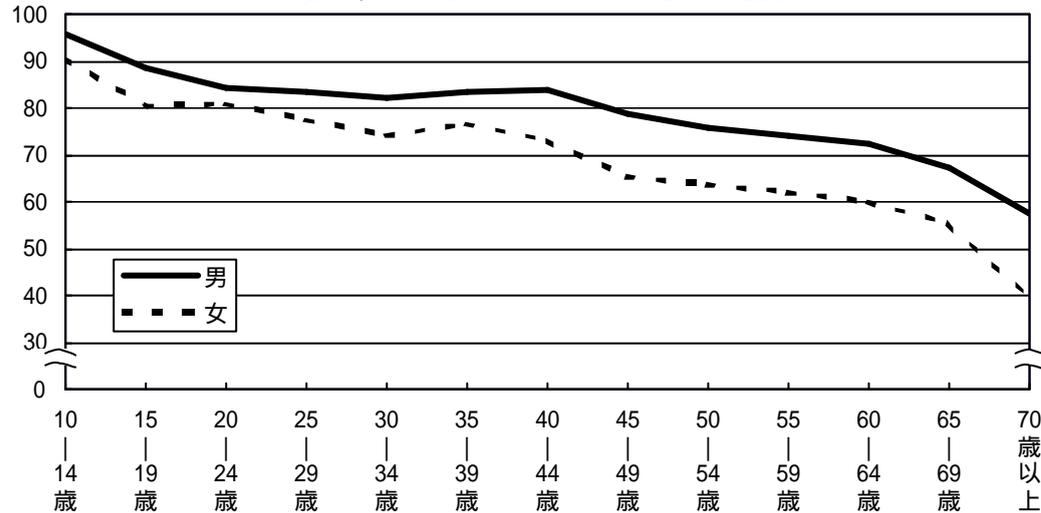
「スポーツ」を行った人をその種類別にみると、「運動としての散歩・軽い体操」が4812万4千人（行動者率42.6%）と最も多く、次いで、「ボウリング」が2607万4千人（23.1%）、「水泳」が2236万1千人（19.8%）となっている。

また、1年間の平均行動日数を「スポーツ」の種類別にみると、「運動としての散歩・軽い体操」が99.4日と最も多く、次いで、「ゲートボール」が60.6日、「ジョギング・マラソン」が58.0日となっている。（図5-3）

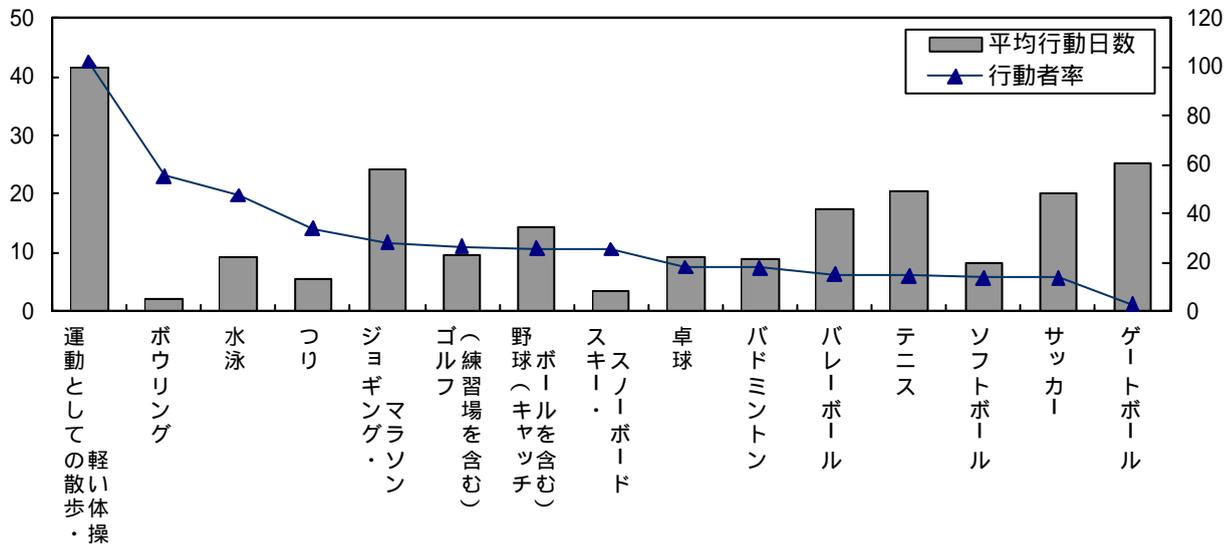
(%) 図5-1 年齢階級別「スポーツ」の行動者率 - 平成8年, 13年



(%) 図5-2 男女, 年齢階級別「スポーツ」の行動者率



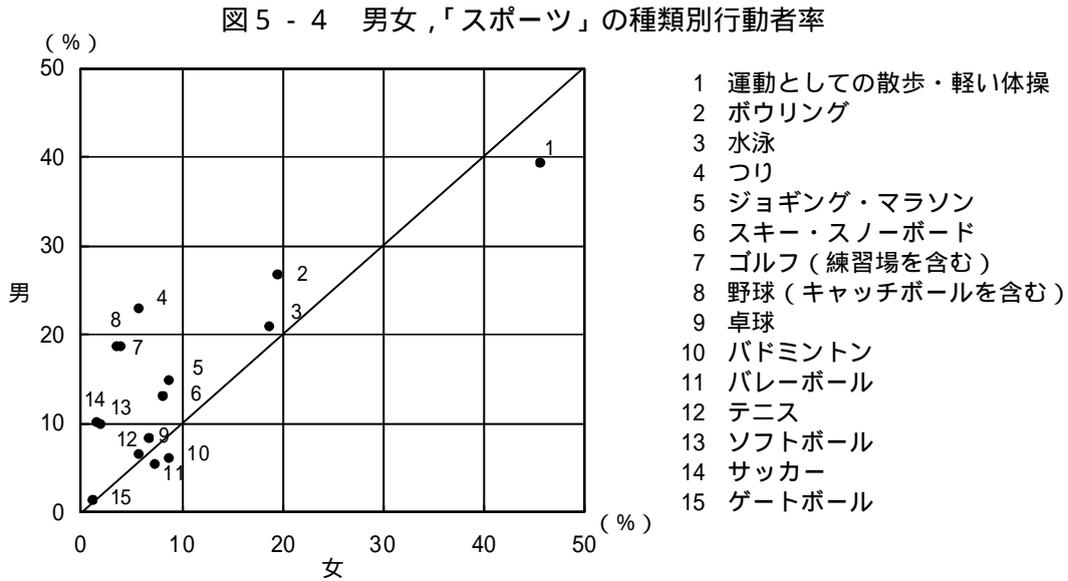
(%) 図5-3 「スポーツ」の種類別行動者率・平均行動日数 (日)



(4) 男性は「釣り」と屋外球技，女性は「運動としての散歩・軽い体操」など

「スポーツ」の行動者率を男女別にみると，ほとんどの種類で男性が女性より高くなっている。男性が女性より高くなっているものは，差が大きい順に「釣り」，「野球（キャッチボールを含む）」，「ゴルフ（練習場を含む）」，「サッカー」，「ソフトボール」などとなっている。

一方，女性が男性より高くなっているものは，差が大きい順に「運動としての散歩・軽い体操」，「バドミントン」，「バレーボール」となっている。（図5 - 4）



(5) 10 歳代では「水泳」，20 歳代では「ボウリング」，中高年層では「運動としての散歩・軽い体操」の行動者率が最も高い

「スポーツ」の行動者率を年齢階級別にみると，若年層は多くの種類で行動者率が高くなっており，スポーツ活動が盛んである。10 歳代では，「水泳」が最も高く，次いで，「ボウリング」，「運動としての散歩・軽い体操」などとなっている。20 歳代では，「ボウリング」，「運動としての散歩・軽い体操」，「スキー・スノーボード」の順となっている。30 歳代以上では，すべての年齢階級で「運動としての散歩・軽い体操」の行動者率が高くなっているが，2 番目以降に高い種類は年代によって異なり，30 歳代と 40 歳代では「ボウリング」，「水泳」，「釣り」，50 歳代と 60 歳代では「ゴルフ」，「釣り」，70 歳以上では「ゲートボール」，「釣り」の順となっている。（表5 - 1）

また，平均行動日数を年齢階級別にみると，10 歳代では「テニス」が最も多く，次いで，「運動としての散歩・軽い体操」，「サッカー」の順となっているが，20 歳代以上のすべての年齢階級で「運動としての散歩・軽い体操」が最も多く，次いで，「ジョギング・マラソン」の順となっている。（表5 - 2）

表5 - 1 年齢階級,「スポーツ」の種類別行動者率の順位

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代	水泳	ボウリング	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	野球(キャッチ ボールを含む)
20歳代	ボウリング	運動としての散歩・ 軽い体操	スキー・ スノーボード	水泳	つり
30歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ボウリング	水泳	つり	野球(キャッチ ボールを含む)
40歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ボウリング	水泳	つり	ゴルフ (練習場を含む)
50歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ゴルフ (練習場を含む)	つり	ボウリング	水泳
60歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ゴルフ (練習場を含む)	つり	水泳	ジョギング・ マラソン
70歳以上	運動としての散歩・ 軽い体操	ゲートボール	つり	ゴルフ (練習場を含む)	水泳

表5 - 2 年齢階級,「スポーツ」の種類別平均行動日数の順位

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代	テニス	運動としての散歩・ 軽い体操	サッカー	野球(キャッチ ボールを含む)	ジョギング・ マラソン
20歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	サッカー	テニス	バレーボール
30歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	バレーボール	テニス	サッカー
40歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	テニス	バレーボール	ゴルフ (練習場を含む)
50歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	テニス	水泳	バレーボール
60歳代	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	テニス	水泳	ゲートボール
70歳以上	運動としての散歩・ 軽い体操	ジョギング・ マラソン	ゲートボール	テニス	卓球

(6) 行動者率が上昇した「ジョギング・マラソン」、低下した「ボウリング」、「スキー・スノーボード」など

平成8年と比較可能な「スポーツ」の種類について行動者率をみると、平成8年に比べ上昇したものは「ジョギング・マラソン」(0.9ポイント)となっており、逆に低下したものは、低下幅の大きい順に「ボウリング」(6.0ポイント)、「ソフトボール」(3.6ポイント)、「スキー・スノーボード」(3.4ポイント)などとなっている。(図5 - 5)

